

東北・北海道地区通研大会の記録 R 1～

| 年度 | 通し番号 | 大会名 | テーマ | タイトル | 内 容 | 所属校 |
|-----|------|--------------|-----------|---|---|-------------|
| R 1 | 1 | 東北・北海道地区通研大会 | 教育課程・学習指導 | 多様な生徒の可能性を引き出すアクティブな学びづくり～星槎国際の実践～ | プロジェクト・ベースラーニング (PBL) の技法により、ディスカッション等のグループワークを通して地域に関する課題を設定し、解決策を探求するプロジェクト学習の実践発表。全国の学習センターを結び、プレゼンテーション大会も実施。アクティブな学びづくりに取り組んでいる。 | 星槎国際高校 |
| R 1 | 2 | 東北・北海道地区通研大会 | 教育課程・学習指導 | 受講継続率を高めるための本校の取組 | 受講継続率（1科目でも単位を修得した人の割合）が低い傾向にある、レポート数や、面接指導の多い科目の改善策の発表。HRの設定とレポートの配布、レポート提出期限の設定、電話や手紙による生徒への促し、指導のデータ化による共有、等を紹介している。 | 秋田県立秋田明德館高校 |
| R 1 | 3 | 東北・北海道地区通研大会 | 進路指導 | 本校の進路指導の取組と課題 | 全国に50を超えるキャンパスのうち、北海道本校地区の発表。ゼミ活動（フードサイエンスゼミ、地域交流ゼミ等）、インターシップ、地域のお祭り参加、本校と旭川サテライト合同体育祭・文化祭などの取組みを紹介している。 | クラーク記念国際高校 |
| R 1 | 4 | 東北・北海道地区通研大会 | 進路指導 | 多様な生徒への進路指導 | 多様な生徒への対応として、進路指導課の特別支援コーディネーター（教員）を中心に行っている「生徒情報交換会」や「個別の進路ケース会議」を紹介している。 | 岩手県立杜陵高校 |
| R 1 | 5 | 東北・北海道地区通研大会 | 生徒指導 | 生徒会の活性化と取組について | これまで教員主導で行ってきた生徒会活動だが、創立20周年（令和元年）記念式典に際し、保護者・地域の方も含め、生徒を中心に様々な行事を企画し、取組んだ。その実践と今後の改善課題についての報告。 | 青森県立尾上総合高校 |
| R 1 | 6 | 東北・北海道地区通研大会 | 生徒指導 | 特別活動におけるソーシャルスキルトレーニング～デザイン思考プロセス『共感』を活用して～ | 発表者が長期研修で東北芸術工科大学大学院で学んでいる「デザイン思考」を用いて、通信制生徒が実際に他者とのコミュニケーションをすることでコミュニケーションの楽しさを体験する試みを発表。誰でもできることから徐々にハードルをあげていくことが大事と説く。新入生歓迎会で行った活動を紹介している。 | 山形県立鶴岡南高校 |
| R 1 | 7 | 東北・北海道地区通研大会 | 放送教育 | 北海道芸術高等学校放送教育の現状の把握 | 全通研放送教育委嘱校としての研究発表。2018年度は放送教育利用による面接指導減免を行ったが2019年度は行わない。NHK高校講座を見ているメディア・場所・放送視聴が必要な理由等のアンケート調査を2018年度に実施。2019年度は、NHK高校講座QRコード（数学Ⅰ・生物基礎・地学基礎）を生徒に配布し、復習への活用を促し、その実施状況等のアンケート調査を行った。 | 北海道芸術高校 |